

バイオマス混焼発電施設整備事業に係る環境影響評価準備書に対する市長意見

1 脱硝用アンモニアの管理方法について

脱硝設備において使用されるアンモニアは悪臭防止法に規定する特定悪臭物質であり、未反応のアンモニアが煙突から排出された場合、悪臭の発生が懸念されることから、アンモニアの管理方法について記載すること。

2 冷却塔における水質の管理方法及び水蒸気白煙による影響について

復水器の冷却方法として工業用水を循環利用する冷却塔方式を採用しているが、冷却水にレジオネラ菌が発生し、冷却塔から周辺に拡散するおそれがあるため、冷却塔の管理方法にレジオネラ菌対策についても具体的に記載すること。

また、冷却塔から放出される水蒸気白煙の高さや拡散範囲の予測評価を行い、その結果に応じて、追加の環境保全措置の実施について検討すること。

3 工事中における騒音の予測評価について

建設作業騒音の予測結果は、騒音規制法に規定する特定建設作業の規制基準には適合するものの、事業実施区域の敷地境界における予測値が 83dB と大きいことから、予測対象範囲を響灘ビオトープまで拡大し、評価を行うこと。また、予測評価の結果に応じて、追加の環境保全措置の実施について検討すること。

4 掘削土砂の仮置き場における動植物の予測評価について

動植物・生態系の環境影響評価については、プラントが設置される事業実施区域のみを予測評価の対象としているが、工事中の掘削土砂の仮置き場についても土地の形質変更が行われるため、事業実施区域に追加し予測評価を行うこと。

5 チュウヒに対する環境影響について

(1) 他の事業計画を含めたチュウヒの生息環境の予測評価について

事業実施区域周辺のチュウヒの生息環境の変化については、本事業だけでなく、チュウヒの行動に関連する他の開発事業による影響も含めて予測評価を行うこと。

(2) 工事計画におけるチュウヒへの配慮について

チュウヒの営巣に影響を与えないよう、営巣時期に配慮した工事計画を策定すること。また、事業着手後は、学識経験者等専門家の意見を聞きながら、工事中におけるチュウヒのモニタリング調査を行い、必要に応じて追加の環境保全措置の実施について検討すること。